

初盆迎える38の人柱

御霊に捧げる一面建設、一面闘争の決意

立つ秋と共に終戦後六度迎える盆祭りが近づいた。會つての出で、秋の行時程ではないにしても、地下産業の奇麗な労働環境の下、月毎に、年毎に、多くの仲間が仆れて行つた。今年初盆を迎える三池の殉難者は、四山の三名を筆頭に、三川一〇、宮浦八、万田五、勝浦大浦各一、計三八柱。他に私傷病による死者九十名、岡山以来三池の人柱として散つて行つた幾多の御霊と共に、一面建設、一面闘争のあつた三池の明け暮れの中にあつて、我々は、一層保安の問題を重視し設備の充實改善を圖り取り、生命の安全を期す事こそ、犠牲となつて仆れた先達、同志達の志に即ちするべきである事を思い見るべきであらう。

新賃金ブロック別交渉 態勢整備を急げ

労務 指令第一號を發す

七月附労働争議指令第一號は十月以降賃金闘争への臨出に當り、先の中央委員会決定に基づくブロック別交渉の態勢整備に關し左の如く發令した。

ブロック編成の件

八月一日中労務局長は、ブロック別交渉の態勢整備に當り、ブロックの編成に關し、以下の如く指示した。

一、ブロックの編成は、労働者の生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。

二、ブロックの編成は、労働者の生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。

三、ブロックの編成は、労働者の生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。

賃金交渉の進展

八月一日中労務局長は、賃金交渉の進展に關し、以下の如く指示した。

一、賃金交渉は、労働者の生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。

二、賃金交渉は、労働者の生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。

三、賃金交渉は、労働者の生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。

“統合延期は不可能”

会社側、強行方針を固執 團體交渉一先ず打切り

合併問題

三川、万田、並に本所、建設の統合問題に就ては、数回に亘る交渉と組合の大衆討論、委員会等を通じて、八月七日の團體交渉に於ては、諸施設の完備がなされる迄、統合反対の基本方針を以て、精力的交渉を行つたが、会社側は数時間にも及ぶ別室協議の結果、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの組合に於ては、熱慮されたとの回答を行つた。

三川、万田、並に本所、建設の統合問題に就ては、数回に亘る交渉と組合の大衆討論、委員会等を通じて、八月七日の團體交渉に於ては、諸施設の完備がなされる迄、統合反対の基本方針を以て、精力的交渉を行つたが、会社側は数時間にも及ぶ別室協議の結果、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの組合に於ては、熱慮されたとの回答を行つた。

交渉の対立点 (三)

副委員長 佛 寛

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

波とうを蹴つて

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

行動要綱 異議可決

但し共済會統合は見送り

第六回闘争中央委員會

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

スト賛成90%強

労働闘争無記名投票開票結果

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

組合千一夜 (第廿九話)

安 結 の 朝

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

厚生部 質疑應答 第13回

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

おたぴ来る人 (上) 五 だ 市

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

起上る大労働

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

基本方針

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

定例市議會

労働交渉の対立点として、以下の三つが挙げられる。

一、賃金交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

二、福利厚生交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。

三、労働環境交渉の対立点。労働者は、生活の便を考慮し、かつ、交渉の効率を高めることを旨とする。会社側は、技術的良心と將來に於ける從業者の幸福を以て延期は不可能であるとの回答を行つた。